

2019年9月1日
現勢2,734名
前月比-20名
2,815名(1/1付)

小平東村山

発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

組織人員 2800名の堅持へ



長い月間を“やりきる、ための英気を養った

秋の仲間づくり月間が開始

104名が集結し
出陣式で意思統一

【一ツ橋 川口直明 教育
宣伝部長】
秋の仲間づくり月間の
出陣式を8月23日(金)
小平市福祉会館にて1
04名の参加で行いまし
た。
はじめに「秋は2か月
間と長い期間だが、協力
して達成目指して頑張り
う」と井上執行委員長よ
りあいさつがありました。

国交省は建
設キャリア
アップシス
テム(以下CC
US)を今年
4月より運用
開始。6月末
時点の登録件
数は大手企業・セネコン
を中心として約
6万2千件、事業者約1
万6千件で今後さらなる
増加が見込まれます。

CCUSで仲間と対話を

「建設キャリアアップシステムが4月より本格運用中」
が可能な
り、現場管
理の効率化
や技能者の
適切な評価や処遇改善に
繋がります。国交省では
CCUSの活用を幅広く
大することも検討してお
り、登録が遅かったこと
で技能評価ができないな
どの不利益が生じる可能
性があります。

支部では8月に登録端
末を事務所へ設置し、今
後の窓口開設へ向けて準
備中です。また、組合員
による相談・質問につい
ては現在も随時受け付け
ています。
秋の仲間づくりでも対
話のきっかけとなる材料
です。現場や訪問行動な
ども積極的に声をかけを
お願いします。

飛田組織
部長からは
「参加者を増
やし対象者
や仲間にか
いに行こう。
その中でも特
に、対象者を
かかえている
若手組合員や
成果の半数を
占める事業所

「やるからには楽しく!!」
お腹を満たした後
は恒例の決意表明。
各分会・青年部・主婦の
会・けやきの会からそれ
ぞれ「やる気スイッチを
ONにする」明るい発言
がありました。その後オ
ルグ団からの決意表明。
最後は石塚書記長の団結

カンパローで閉会しまし
た。2か月後またおしい
お酒を飲むためにも、
一丸となり目標達成へ向
けて頑張りましょう。



オルグ団も ともに奮闘を誓う

分会センターを賑やかに

※アジトごはんを食べよ
う：行動参加者に応じて
ポイントを付与。分会内
の取り組みで使用する食
品と交換可能。
※訪問まつり：訪問件数
に応じてポイントを付
与。ポイント数に応じて
様々な景品に交換可能。

組合からのお知らせ

秋の健康診断

◇10月20日(日)み
その診療所 〆切
10月11日(金)
◇10月27日(日)北
多摩生協診療所 〆
切・10月19日(土)
群会議等で配布さ
れる所定の用紙でお
申し込みください。

求人情報

塗装(正規)
SHINSEI
TEL090(310
7)6223◇要普
免、元気でやる気の
ある方募集中!
基礎工事(正規)
高橋基興(尙)
TEL090(321
8)3713◇要普
免、経験者優遇。
※求人情報の詳細は
支部HPにも掲載中

用水路

分会合併をして野
火止分会としてス
タートを切り15
年!肝心の活動内
容は情性で行動し
ている状態で、分会独自
の動きとなるとなかなか
難しい(時間が取れな
い)状態だ。しかし、
与えられたサイをクリア
していく行動は、皆さん
の協力により無事乗り越
えられている。仲間意識
を培うには、絶え間ない
話し掛けで少しでも目を
向けてもらう努力が必
要。役員自らが引っ張
り、ついてきてもらうと
いう事は相当なものだと
感じている。▼皆で集ま
る機会があれば話をし情
報を伝え、如何に気持ち
よく和やかに時を送れる
か。他の眠っている仲間
に『参加しないと損』
『次も参加したい』気持ち
になってもらえるよう想
いをもって行動してい
る。その為には、各々が
持っている知識・個性・
考え・行動力を最大限生
かしていく事が重要だ。
▼愚痴はかたりであるが、
その愚痴も皆に投げかけ
る事で前に進める。土建
組織・職人仲間の良いと
ころの結集だと思ふ。こ
れからも楽しく、思いや
り、仲間意識を強固に進
んでいきたいと、分会の
皆さんに届くことを願っ
ている。
(及)

つなごう 平和のおもい

2019年 原水爆禁止世界大会 報告

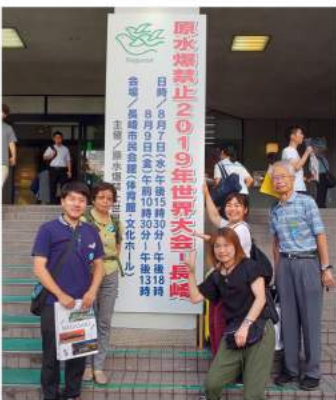
心に残った 1枚の写真

【一ツ橋 佐々木美代子】
原水爆禁止2019年世界大会 in 長崎が8月7〜9日開催されました。

7日の開会式では南米のボリビアが「核兵器禁止条約」の批准を行い25番目の条約批准国となったことが報告され会場は大きな拍手に包まれました。被爆国である日本はこの条約の署名・批准国でないことは非常に残念に思います。

8日は分科会後に平和公園と原爆資料館へ。資料館の展示物の中で私の心に残ったのは、子どもが赤ちゃんをおんぶして気を付けをして立っている

【書記 北岡佳織】
今回、2回目の原水爆禁止世界大会に参加し、被爆した街という観点からはじめに長崎市内を巡ることができました。
開会式で田上市長は「被爆者がいる今行わなければいけないこと、そして」



小平原水協からは5名が参加

2日目は動分科会へ参加し、浦上天主堂・如己堂・平和公園・原爆資料館を巡りました。人の思いがあふれているか

平和的な戦いで 平和の実現を

被爆者がいなくなった後に行わなければいけないことを皆さんと考えていきたい。いま誰でもできることとして『ヒバクシャ国際署名』に協力してほしい」と訴えました。
また、閉会式では辺野古新基地建設問題について尽力している前名護市長稲嶺さんが「私たちは諦めません。したたかにしなやかに、歌い踊りながら抵抗を続けます」と話された言葉に、確かに私たちは平和のために戦い続けるが、必ず平和的な戦いをしなければならぬと感じました。



全国から多くの参加者が集まった

一枚の写真でした。2人は兄弟で、男の子は赤ちゃんが亡くなったため焼き場で順番を待っている写真だと、思わず涙があふれ出てきました。
今回原水爆禁止世界大会に行かせていただき、自分の目で見てとても貴重な経験をすることができると感謝しています。これからも平和で暮らせるよう私にも何が出来るかを考え、行動し貢献していきたいです。

国民平和大行進は、核兵器全面禁止・廃絶の声を全国に広げ、広島・長崎、そして世界へ届けることを目的として毎年取り組まれていきます。2019年は北海道・礼文島を5月6日に出発し、7月22日に東村山梯団へ、23日には小平梯団へそれぞれパトロンが引き継がれました。

東村山 平和行進

【小川 安立孝章 通信員】

今日も雨が降りそうな空の下、7月22日(月)午後1時半ごろ平和行進に参加するために約20名近い仲間が東大和清水郵便局前に集結。東大和地域の梯団から引き継ぎ後、中間地点の休憩所である東村山市役所を目指しました。



ゴール地点の全生園でスイカにかぶりつく南分会 根岸書記長

休憩所には、冷たいお茶などを新婦人の方々の協力により用意。東村山市長の代理として市民部次長さんから、激励の言葉をいただきました。

ただきました。休憩所で待ち受けていた仲間も合流し梯団は約50名規模に膨れ上がり、いざゴールである全生園を目指し再度出発。大きな声で核兵器全面禁止を訴え『平和が一番』『核兵器はいらない』『憲法守れ』『命が大事』とピースコールを唱和しました。

小平平和行進

【小平東 黒坂三四治 通信員】

7月23日(火)小平市役所から原水爆禁止世界大会へ向けての平和行進へ出発しました。今年から終着点が田無庁舎から田無四丁目第3公園へ変更され、約7キロのコースでの取り組みとなりました。



市役所を出発し いざ田無へ

スタート時点ではあいにく小雨でしたが、梅雨の時期にしてはめずらしく気温が低く、恵まれたデモ行進日となりました。平和行進ということでも、シュプレヒコールも平和に関するのみ。『核兵器の廃絶』『原発再稼働反対』『横田基地オスプレイはいらない』『平和はイイネ!』など、比較的ソフトなコールに限定されたこともあり、沿道の皆さんの反応も好意的でよかったですように思われました。
東京土建、地区労、西都保険生協、年金者組合、新婦人など合計80名の参加で、無事目標の公園にゴールすることができました。

分会後継者課題

期待と現実のはざまに

北山 分会

前田 常雄 通信員

新年度が発足して5ヶ月を経とうとしているがモヤモヤ感がおさまらない。

群役員の輪番制を柱にして、少しでも公平な組合活動を実現したいと考えていたが、うまくいかない。専門部役員に任じられた。

自分から加入したのだから、多少のリスク(こう考えていると思われ)には付き合えないものなのか。大昔からの活動の在り方に不満があるのなら、それを変えていける力を持っているのが次世代だと思っている。

「あっちを立てる気もないし、こっちを立てる気だつてない人間関係面倒で、及び腰 話を聞けば巻き込まれる 良いことなんてあるわけない」
思わずそうなのかと納得してしまいそうなの自分が情けない。「何を言われても聞く耳を持たない 干渉なんかさ



スローガン「進め!若さとやる気と知識を持って!」の通り秋の仲間づくりでの躍進を目指す

笑ってしまいそうになるが現状を肯定せざるを得ない。わかってんなら自分から行動起こせよ。そうツッコミを入れても誰にも受けない歌詞の真意はともかく、この発想なら当然後継者問題は解決しそくないかも。それでも次世代の力が未来の東京土建を創っていくことを信じている。